



エネルギー総合学連携研究機構×気候と社会連携研究機構

UTokyo
Green
Transformation

合同シンポジウム

気候変動緩和と適応

～社会とエネルギーのレジリエンス～

ロシアのウクライナ侵攻開始以降、国際的にエネルギー安全保障やエネルギー安定供給への関心が高まっている。現実のエネルギー政策には手詰まり感がある一方では、研究者側からは、様々なアイデアが提案され百家争鳴である。一方、毎年のように気候変動の影響は激甚化し、熱中症や水害などの災害も増加しつつある。

我々は、エネルギーの安定供給を実現しつつ、気候変動の緩和策と適応策、防災策を並行して進めていく必要がある。本シンポジウムでは特定の方向性を示すのではなく、様々な提案について学術的な観点から再検討し、今後の政策や技術に関する論議の参照点を提示し、更なる議論を喚起することを企図する。

オンラインライブ
開催

日時

2022年 **12月22日 (木)** 13:00～16:20

プログラム

13:00～13:10	挨拶	●大久保 達也	東京大学 理事・副学長
13:10～13:15	挨拶	●沖 大幹	気候と社会連携研究機構 機構長
13:15～13:35	講演 1	●関 克己	公益財団法人河川財団 理事長 (元国交省水局長)
13:35～13:55	講演 2	●平山 学	東京電力ホールディングス株式会社 エリアエネルギーイノベーション事業室 副室長
13:55～14:10	講演 3	●田中 良	東京大学教養学部附属教養教育高度化機構 客員教授 (NTTアノードエナジー株式会社)
14:10～14:20	休憩		
14:20～14:35	講演 4	●渡部 雅浩	東京大学大気海洋研究所 教授
14:35～14:50	講演 5	●芳村 圭	東京大学生産技術研究所 教授
14:50～15:05	講演 6	●井原 智彦	東京大学大学院新領域創成科学研究科 准教授
15:05～15:20	講演 7	●成田 大樹	東京大学大学院総合文化研究科 教授
15:20～15:30	休憩		
15:30～16:15	パネルディスカッション		
16:15～16:20	閉会挨拶	●松橋 隆治	エネルギー総合学連携研究機構 機構長

お申
込み

下記URLまたは右記QRコードよりお申込みください。

https://u-tokyo-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_4xaPzR0oTwi9wYSGcIK59w



主催：



お問合せ：エネルギー総合学連携研究機構・気候と社会連携研究機構合同シンポジウム事務局
sympo-energy-climate-group@g.ecc.u-tokyo.ac.jp